


要領様式第2号

出張報告届

令和元年7月16日

吹田市議会議長様

会派名 民主・立憲フォーラム

出張者氏名 西岡 友和 

.....  


.....  


.....  



.....  


.....  


.....  


下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	7/12 (金) 梅田DTタワー3F 会議室		
期間	令和元年7月12日から 7月12日まで 1 日間		
出張の成果	別紙のとおり		
備考		認 印	会派代表者
			



日時：2019年7月12日

場所：梅田DTタワー

時間：13時30分～17時

式次第：別添を参照

○熊本市では2018年9月、市内の小中学校、全クラスに電子黒板を導入した、また23,000台のタブレット、これは市内の全校生徒数の3分の1相当に該当する規模。大西市長はこの決断につき『震災の復興に、未来を創造する力を持った子どもたちが必要』だとし、最も力を注力すべきは『こども・教育』だと言明。

○2020年以降、新しい学習指導要綱が始まる

ICT導入が目的ではなく、ICTを使い自ら課題を見つけ、学び、考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく『生きる力』を身に着ける事が目的。10年先の社会が見通せない時代にあっては、これまでの学習指導の枠では取まらない。

もうすでに、学校現場はイッパイであるうえ、『外国語教育』『プログラミング教育』が加わります。ICTの活用なくして新学習指導要綱への対応は困難。

○熊本市、熊本県立大学、熊本大学、ドコモ、などの産学官連携の実施

○導入効果

- ・子どもが先生に教えるケースが散見される
- ・先生の授業が自由になった（中学生の意見）
- ・学びを通じて生徒間の絆がふかまった

○本市への取り組み

- ・第四次情報化推進計画におけるICT推進にとって、教育分野は中心と言える
- ・こういった分野こそ、専門家をCIO補佐官として招くべきと考える
- ・引き続き、本市教育委員会に働きかけを行う

以上